



「桜梅桃李」という言葉が好き!

それぞれ可憐に咲き使命を果たしながら人々の心を和ませてくれる花・花・花。

一人ひとりが今、居る場所で自分らしく生き、自分らしく「きらきら」と輝いていける21世紀でありたい…。

きらきら

第39号

今、ひとりひとりが…

男女共同参画ネットワーク会議

視

察

研

修

～ジェフリーすずかに行ってきました～



伊賀市男女共同参画ネットワーク会議では、毎年会員研修を行っています。今年は、ネットワーク会議会員が実行委員会を立ち上げ開催している、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが」の構成などの参考にしたいと、鈴鹿市男女共同参画センターで行われた「ジェフリーふえすた2015」に参加させていただきました。

センターの施設を使っただけの開催ということ、また午前中は子どもを対象としたイベントがあったということもあり、アットホームな雰囲気印象的でした。午後の基調講演では、講師が落語家の方で、講演のなかで落語の披露もあり、男女共同参画を楽しく学ぶ時間となりました。



図書コーナーから

新着図書のお知らせ

男女共同参画センターでは、男女共同参画にまつわる図書やDVD等の貸し出しをしています。1回に1人5冊(本)まで(DVD・ビデオは2本まで)、貸し出し期間は2週間です。

- ◆崖っぷちで差がつく上司のイクボス式チーム戦略 日経 dual 編集部・著
- ◆輝く会社のための女性活躍推進ハンドブック 清水レナ・著
- ◆いつまでも会社があると思うなよ! 川島高之・著
- ◆LGBTってなんだろう? からだの性・こころの性・好きになる性 薬師寺実芳・笹原千奈未・古堂達也・小川奈津巳・著
- ◆ツレはパパ1年生 細川 貂々・著
- ◆じぶんをいきるための一冊。 ippo. ・著
- ◆パパの極意 仕事も育児も楽しい生き方 安藤哲也・著
- ◆リーママザベスあなたを救う! 働くママの迷いが消える30のコトバ 博報堂リーママプロジェクト・著
- ◆「育休世代のジレンマ 女性活用はなぜ失敗するのか? 中野円佳・著

編集・発行

伊賀市人権生活環境部人権政策・男女共同参画課
〒518-0873 三重県伊賀市上野丸之内 500 番地
Tel.(0595)22-9632 FAX(0595)22-9666

(平成 28 年 2 月 15 日発行)

編集

伊賀市男女共同参画センター情報紙「きらきら」
編集スタッフ 岡 久美子・竹山 佐代子・的場 裕子
宮田 美智子・三山 佳代子



11月8日・1月23日
 ～パパと子どもの料理教室 から～
 子どもたちの笑顔がいっぱいでした



松永啓子先生



～日本女性会議2015倉敷に参加して～

「思いやり ^{ひと}男女が集う 白壁のまち」～ライフステージとそれぞれの男女共同参画～という大会テーマのもと、様々なライフステージの切り口から男女共同参画を考えた大会でした。記念講演は竹内陶子&上田紀行ご夫妻によるトークで、お互いの仕事を認め合あって助け合い、子育ても夫婦の協力と努力で暖かい愛情をもって取り組まれていると感じました。自分がどう生きるか、かけがえのない自分の存在に自信を持ち、人のために何ができるか。男女共同参画とは、女性も男性も区別なく差別なく、同じ人間として同じ価値を持ち、自分たちで社会を作り上げていくことだと、強く心に響いた大会でした。そして、私たちの志の大きな力添えとなりました。

記念シンポジウムでは「希望の社会は“わたしたち”にある」というテーマで、パネリストの方々の取り組みや生き方から、仕事、子育て、介護などの取り巻く環境が変化を続

けているなか、女性も男性も大人も子どもも確かな未来は自分たちで切り拓いていく。愛されたり、承認されることで人は輝く。人として輝くことは、心から助け合う精神が宿り、社会を豊かにするという学びをいただきました。倉敷での素晴らしい大会に参加できたことに感謝いたします。ありがとうございました。

(伊賀市男女共同参画ネットワーク会議会長

今井 和子)

「日本」などと大層な名を掲げた会議とは、いったいどんな会議かと、半ば旅行気分ですら降り立った。しかし、その瞬間からの2日間、私の口から「すご～い！」の連発だった。何度うなずき、どれだけ拍手をしたことか。

760名という市民ボランティアがおそろいのTシャツで身を包み、全会場までを笑顔でサポートする姿や、講演会、分科会に関しても、にわか作りでないレベルの高さを感じました。機会あらば、是非みなさんも!!

(伊賀市男女共同参画ネットワーク会議副会長

川口恵美子)

○「けんせつ小町」

タイトルの「けんせつ小町」は、日本建設業連合会が、女性を建設業へ呼び込むため、親しみやすい愛称でPRしようと募集したものです。

○もっと女性が活躍できる建設業へ

建設業の現場で活躍する女性は、平成24年の労働力調査によると約10万人で、全体に占める女性の割合は約3%と低い水準となっています。こういった現状を打開し、建設業への新たな活力と刺激をもたらそうと、国土交通省と建設業5団体*が一体となり、「もっと女性が

活躍できる建設業行動計画」（以後、「行動計画」という。）を策定しました。

○情報発信と環境整備

「行動計画」では、具体的な取り組みとして、女性の建設業への入職者を増やすこと、働き続けられる職場環境整備、スキルアップできる環境を整えること、活躍する女性の姿を発信することを挙げています。建設業に携わる女性の数を5年で倍増することが「行動計画」の目標です。
（男女共同参画係）

※日本建設業連合会・全国建設業協会・全国中小建設業協会・建設産業専門団体連合会・全国建設産業団体連合会

木津川上流河川事務所と工事業者が県道信楽上野線の新居橋で開催した『「けんせつ小町」歓迎 橋の工事現場見学会』に参加しました。

工事発注の際、仕様書に女性用トイレ・休憩室の設置を記載し、女性が働きやすい職場環境の整備につとめているそうです。現場のトイレ・休憩室は清潔感があり、安心して利用できるよう、設置場所にも配慮されていました。



高所作業車に乗車

測量にチャレンジ



現場に女性専用トイレ・休憩室がありました！



伊賀市男女共同参画ネットワーク会議
(いきいきネット) 会員紹介

伊賀華道協会

“人の和・花の輪・未来へ”

芭蕉生誕 370 年記念自主事業として、平成 26 年 5 月に各流派合同いけばな展を成功裡に終えることができ、流派を超えて花や草木に心を寄せあう者同士の心が一つになりました。このことが原動力になり、同年 11 月に伊賀華道協会が関係の皆様のご支援のもと誕生いたしました。

華道の心と技を研ぎ いけばなを通して 潤いのある 心癒される環境づくりに、また伝統ある生け花文化を次世代に継承していくことを会の目的としております。

事業としては 昨年 3 月設立記念花展をMTC 5 階で “人の和・花の輪・未来へ”のテーマのもと開催し、1200 名の方に御来場いただきました。

文化都市協会様との共催で、「灯りと華」に、また伊賀市文化祭展示部門に多く出瓶させていただいております。また今年 3 月 19 日～21 日文化会館に於いて、「いけばな×音楽」の祭典を企画しております。

多くの皆様の御来場お待ちしております。

現在 10 流派 199 名 の会員数です。

伊賀華道協会会長 柘植 美智代

